

当初・変更

工事執行機関 41361 山口土木事務所

入札（見積）執行調書
入札（契約）結果書

年災		事項		契約	平成30年8月7日
工事番号	18-41361-0066	工事名	公共災害復旧工事（護岸）	着工	平成30年8月7日
入札執行年月日	平成30年8月2日	発注種別	01 一般土木工事	完成	平成31年3月29日
審議番号	公所	000000	本庁		
路線・河川名	伊南川			予定価格	
工事箇所	自 南会津郡只見町大字福井字清水田表地内			133,230,960	
	至				
工事概要	復旧延長 L=56.5m ブロック張工 A=471.0m ²				

業者コード 業者名	落札者の住所		
	入札額及び再入札額		落札額（契約額）
100000133 滝谷建設工業（株）	(1) (3)	(2) (4)	辞退
100002422 金子建設（株）	(1) 125,200,000 (3)	(2) (4)	辞退
100002429 大和建设工業（株）	(1) (3)	(2) (4)	辞退
100002447 佐久間建設工業（株）	(1) 124,500,000 (3)	(2) (4)	辞退
100002454 山十建設（株）	(1) (3)	(2) (4)	辞退
100002474 （株）南会西部建設コーポレーション 南会津本社	(1) 124,500,000 (3)	(2) (4)	辞退
100002497 吉野建設（株）	(1) 124,000,000 (3)	(2) (4)	辞退
100002506 美馬建設（株）	(1) (3)	(2) (4)	辞退
100002510 （株）舘岩工務所	(1) (3)	(2) (4)	辞退
100002511 南総建（株）	(1) (3)	(2) (4)	辞退

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。

※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

当初・変更

工事執行機関 41361 山口土木事務所

入札（見積）執行調書
入札（契約）結果書

年災		事項		契約	平成30年8月7日
工事番号	18-41361-0066	工 事 名	公共災害復旧工事（護岸）	着工	平成30年8月7日
入札執行年月日	平成30年8月2日	発注種別	01 一般土木工事	完成	平成31年3月29日
審 議 番 号	公所	000000	本庁		
路線・河川名	伊南川			予 定 価 格	
工事箇所	自 南会津郡只見町大字福井字清水田表地内			133,230,960	
	至				
工 事 概 要	復旧延長 L=56.5m ブロック張工 A=471.0m ²				

業 者 コード 業 者 名	落 札 者 の 住 所		
	入 札 額 及 び 再 入 札 額	落札額（契約額）	
100002513 山星建設（株）	(1) 124,000,000 (3)	(2) (4)	辞退
100002514 大正工業（株）	(1) 124,000,000 (3)	(2) 123,700,000 (4)	辞退
100002516 東邦土建工業（株）	(1) (3)	(2) (4)	辞退
100002534 久米工業（株）	(1) (3)	(2) (4)	辞退
100003550 （株）新井組	南会津郡南会津町古町字館跡915-2		
	(1) 123,800,000 (3) 123,000,000	(2) 123,500,000 (4)	132,840,000
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	
	(1) (3)	(2) (4)	

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。
 ※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

随 意 契 約 理 由 書

今回発注を行うとする下記1の工事について、当該契約に当たっては、下記2以下に記載のとおり、地方自治法施工令第167条の2第1項第5号に定める「緊急の必要により競争入札に付することができないとき」に該当することから、随意契約にすることとしたい。

記

1 工事概要

- | | |
|-----------|--------------------|
| (1) 工事番号 | 18-41361-0066 |
| (2) 工事名 | 公共災害復旧工事（護岸） |
| (3) 路・河川名 | 伊南川 |
| (4) 工事個所 | 南会津郡只見町大字福井字清水田表地内 |

2 随意契約の理由

当該箇所は、平成29年10月の台風21号による豪雨により河川護岸が被災したため、9月から11月に災害査定を受け、平成29年1月に予算が配分され、査定結果を反映させた実施設計が完了した。

一刻も早く復旧させ、従前の機能を確保するため随意契約としたい。

3 随意契約の相手方

見積者は実績、地域性等を考慮して、選定することとしたい。